

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科 レコーディングエンジニアリング専攻											
実習・演習 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	180	単位	6
担当教員	新保・栃木・小林			実務 経験	有	職種	レコーディングエンジニア				
授業概要											
スタジオワークを理解するため、機材の選定とセッティング、ミックスを実践していく。ミキサー卓の流れを完全にし、現場に合わせた対応が出来るようにしていく。そして、音楽のレコーディングを繰り返し経験することにより、スピードアップして音作りに時間を費やせるよう作業としてのバランス感覚も身につけていく。様々なアーティストとの実録を行い、アーティスト達とのコミュニケーション力も養う。											
到達目標											
マイクロフォンの適切な使い方をマスターする。現場さながらのスタジオワークを通して、準備、セッティング、チェック、音作り、レコーディング、オーバーダビング、ミックスといった様々な項目をグループワークを通して、各々の役割も把握する。またエンジニア以外のスタッフ、ミュージシャンとも適切なコミュニケーションが取れる。楽器やアーティストの声を聞き分けて適切なエフェクト処理を行い、ミックスを完成させる。											
授業方法											
演習において講義形式でスタジオ機器、スタジオワーク、音作りについて学ぶ。スタジオワーク授業回によってアーティストとともに実習する。その際はアーティストの立場や作りたい音をよく考え、アーティストに信頼されるエンジニアになるための姿勢も学ぶ。											
成績評価方法											
実習参加度、レポート、作品提出											
履修上の注意											
この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
音響映像設備マニュアル、適時プリントを配布する。											
回数	授業計画										
第 1 回	演習：エンジニアの知識確認電気、様々なオーディオフォーマット、PC関連の知識がわかる。										
第 2 回	マイクロフォンの確認学内にあるマイクロフォンの機能と種類がわかる。										
第 3 回	デジタル卓復習AXIOM MTの操作方法を通してデジタル卓について復習し、操作できる										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科 レコーディングエンジニアリング専攻	
実習・演習 3	
第4回	演習：アナログ卓復習アナログ卓（SSLのブロックダイアグラムを理解）が使える。
第5回	ドラムのサンプリング音源をつくる様々なマイク、セッティングにより、単音を収録できる。
第6回	アナログ卓復習スタジオのアナログ卓の操作方法について復習し、操作できる
第7回	演習：マイクロフォンの紹介マイクロフォンのメーカー、代表的なマイクがわかる。
第8回	ピアノの音を比べる様々なマイクセッティングにより、ピアノのを收音し、聞き比べることができる。
第9回	ミキサー卓全般の確認デジタル、アナログ両方の概念、操作方法が解る。
第10回	演習：アーティストの立場を研究スタジオ、ライブ、パートごとのモニターの目的がわかる。
第11回	マイクロフォンの紹介ビデオ撮影ドラムとピアノに合わせたメーカー別、目的別に班分け、自分のベストセッティングができる。
第12回	リズムセッティング1バンドレコーディングのセッティングがスムーズにできる
第13回	演習：バンドセッティングいくつかのバンド編成をもとに回線図、準備図を書ける。
第14回	アーティストの立場を研究モニターの研究。アーティストに合わせたモニターづくりができる。
第15回	リズムセッティング2セッティングと回線チェックが素早く、正確にできる

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科 レコーディングエンジニアリング専攻	
実習・演習 3	
第 1 6 回	演習：バンドセッティング2マイクロフォンの選び方、セッティング方法、が適切にできる。
第 1 7 回	CD試聴会教員、学生とも良い音のCDをお互いに試聴し、プレゼンできる。
第 1 8 回	ボーカルダビングセッティング指定された音源へスムーズにボーカル録音ができる
第 1 9 回	演習：ギターの音作り楽器に付いての知識、マイク、ラインの違い、各種音の特徴についてわかる。
第 2 0 回	バンドセッティング復習4リズムのセッティングを細かく考察する。グループごと素早くセッティングができる。
第 2 1 回	ボーカルダビング・エディット録音したボーカルを整音できる
第 2 2 回	演習：アーティストとのコラボレーションレコーディングエンジニアとしての仕事の発掘、インディーズバンドとの関わり方がわかる。
第 2 3 回	セッティングタイムトライアル前回の復習を元に、より早くきれいにセッティングできる。
第 2 4 回	ギターの音作りギターの音のエフェクトを駆使して音作りできる
第 2 5 回	演習：アーティストとのコラボレーション様々なバンドのミックスを考察する。メーターとの関係もわかる。
第 2 6 回	ギターの音作りエレキ、アコースティック、様々なマイク、録りかたがわかる。
第 2 7 回	ドラムの音作りドラムの音のエフェクトを駆使して音作りできる

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科 レコーディングエンジニアリング専攻	
実習・演習 3	
第 2 8 回	演習：リバーブ研究リバーブや空間系のエフェクターの使い方がわかる。
第 2 9 回	R科バンドレコーディングフォーリズムのレコーディングができる。
第 3 0 回	エフェクター多用なエフェクターを使った音作りができる
第 3 1 回	演習：コンプレッサー・リミッター研究コンプレッサーなどダイナミクス系のエフェクターが使えるようになる。
第 3 2 回	R科バンドレコーディング録音データのエディット、ミックスができる。
第 3 3 回	ピアノの音作りピアノの音のエフェクトを駆使して音作りできる
第 3 4 回	演習：エフェクター上記以外のよく使われるエフェクターについても使えるようになる。
第 3 5 回	リバーブ研究サンプリング音源を元に様々なリバーブの音を聞き分けることができる。
第 3 6 回	エフェクター 2 多用なエフェクターを使った音作りができる
第 3 7 回	演習：教育成果発表会（文化祭に向けて）レコーディングエンジニア専攻らしいイベント、発表を検討する。
第 3 8 回	コンプレッサー・リミッター研究サンプリング音源を元に様々な音を作ることができる。
第 3 9 回	レコーディング楽曲レコーディングがスムーズにできる

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科 レコーディングエンジニアリング専攻	
実習・演習 3	
第 4 0 回	演習：スタジオのつくり、設計もし、自分がスタジオを建てたなら？スタジオの構造、各機器の金額、立地など条件がわかる。
第 4 1 回	エフェクター解説ビデオ作成各自のレポート代わりに作成。
第 4 2 回	オーバーダビング録音された音源へ様々な音を適切にオーバーダビングできる
第 4 3 回	演習：教育成果発表会（文化祭に向けて）レコーディングエンジニア専攻らしいイベント、発表の準備
第 4 4 回	まとめと試聴前期のまとめ、各自も持ち寄った音源、音の取り方についてプレゼン、試聴。
第 4 5 回	MIXDOWN各楽器音の関係を考慮しながらミックスダウンできる